

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第1学年 「国語（光村図書）」

214時間（70％）

週	重点に置く指導事項	単元名	教材名	時間数	留意点
一上					
1	Aオ 知・技(1)ア 知・技(3)エ Aエ 知・技(1)ア		いい てんき	1	・教科書の挿絵を見ながら、教師とのやりとりを通して気付いたことを伝えることを中心の活動とする
			おはなし たのしいな	1	・今まで読んだ本を思い出させ、いろいろな本があることに気付かせる
			あつまって はなそう	1	・話の大体の内容を聞き取れることに重点を置いて指導する
			えんぴつと なかよし	1	・書写（※1）と関連を図る（参考：県教委オンラインサポート授業）
	書写		鉛筆の持ち方と姿勢（※1）	1	・正しい姿勢や筆記具の持ち方を意識させる
2	Aア 知・技(1)キ 知・技(1)ア Aア 知・技(1)ア Aア 知・技(1)ア		どうぞ よろしく	3	・自分の名前を友人や先生に紹介する時に、どのような言葉を使うかを意識させる
			なんて いおうかな	1	・生活の場面を思い出させ、どのような言葉を使うかを意識させる
			こんなもの みつけたよ	1	・伝えたい題材を選ぶことに重点を置いて指導する ・生活科の学校探検と関連させる。
			うたに あわせて あいうえお	1	・リズムや発音に重点をおいて指導する ・「4つのへや」のどこから始めてどこに向かうかを意識して書かせる （参考：県教委オンラインサポート授業）
	書写		つづけよう① こえに だして よもう ききたいな、ともだちの はなし たのしいな、ことばあそび	4	・声に出して読んだり友達の話の聞いたりして、言葉を伝え合う楽しさに気付かせる
3	Cアイ 知・技(1)ク 知・技(3)エ 知・技(1)ウ Bウ 知・技(1)ウ 知・技(1)ウ Aアイ 知・技(1)ア 知・技(1)ウ		ひらがな	3	・点画の書き方、文字の形、筆順に注意してひらがなを書かせる
			はなの みち	5	・場面の様子や登場人物の行動などに着目させて、内容の大体を捉えることを中心の活動とする
			とじょかんへ いこう	1	・図書館でのルールについて確認する
			かきと かぎ	1	・教科書にある言葉や例文を繰り返し読んだり書いたりさせる
4	Bウ 知・技(1)ウ 知・技(1)ウ Aアイ 知・技(1)ア 知・技(1)ウ		ぶんを つくろう	4	・主語と述語の関係を意識させる（参考：群馬県オンラインサポート動画）
			ねこと ねっこ	1	・教科書にある言葉や例文を繰り返し読んだり書いたりさせる
			わけを はなそう	1	・話す順序を考えて、そのような気持ちになる理由を伝えることを中心の活動とする
			おばさんと おばあさん	1	・教科書にある言葉や例文を繰り返し読んだり書いたりさせる
	書写		ひらがな	3	・点画の書き方、文字の形、筆順に注意してひらがなを書かせる ・似ているひらがなや字の形を意識して書かせる
5	Cアイ 知・技(1)カ 知・技(1)ウ 知・技(1)ウ 知・技(3)イ Bア 知・技(1)オ		くちばし	7	・本文と写真を対応させながら、くちばしをどのように使っているのかの内容の大体を捉えることを中心の活動とする
			おもちゃと おもちゃ	1	・教科書にある言葉や例文を繰り返し読んだり書いたりさせる
			あいうえおで あそぼう	3	・歌や五十音の縦横読み、しりとりといった言葉遊びを行い、言葉を伝え合う楽しさに気付かせる （参考：県教委オンラインサポート授業）
			おおきく なった	3	・生活科との関連を図る
6	Cイ 知・技(1)ク 知・技(1)ウ Aアエ 知・技(1)ア		おおきな かぶ	5	・場面の様子や登場人物の行動などに着目させて、内容の大体を捉えて読むことを中心の活動とする
			はをへを つかおう	3	・教材文や例文を繰り返し読んだり書いたりさせる
			すきな もの、ななに	6	・好きなものとそのわけを伝え合うことを中心の活動とする
			おむすび ころりん	4	・話のまとまりに気をつけて音読させる ・場面の様子や登場人物の行動などに着目させて、物語の大体の内容を捉えることを中心の活動とする
7	Bアオ 知・技(1)ア		とじょかんと なかよし	1	・学校図書館で、本の表紙を確認しながら読みたい本を見つけさせる
			こんな ことが あったよ	6	・思い浮かべるための観点（したこと、見たこと、聞いたこと、思ったこと等）を確認し、絵日記を書くことを中心の活動とする
			つづけよう② こえに だして よもう ききたいな、ともだちの はなし たのしいな、ことばあそび	4	・教材文を声に出して読んだり友達の話の聞いたりして、言葉を伝え合う楽しさに気付かせる
			おはなしを たのしもう	7	・登場人物の行動を具体的に想像し、内容の大体を捉えて読むことを中心の活動とする
8	Cイエ 知・技(1)ク 知・技(1)ウ Cアウ 知・技(1)カ 知・技(2)ア	おはなしを たのしもう	やくそく	2	・点画の書き方、文字の形、筆順に注意しながら漢字を書かせる ・正しい筆順で書くことで字形が整えやすいことを意識させる
			かん字	2	・正しい筆順で書くことで字形が整えやすいことを意識させる
			かたかなを みつけよう	2	・例文にある片仮名を確認させ、どのような使われ方をしているのかを考えさせる
			うみの かくれんぼ	7	・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えて読むことを中心の活動とする
9	Cアウ 知・技(1)カ 知・技(2)ア	まんて たしかめよう	かずと かんじ	3	・数の数え方を確認する
10					

一下					
11	Cイエ 知・技(1)ウ	おもいうかべながら よもう	くじらぐも	7	・音読の仕方をおさえた上で、想像したことを音読劇で表すことを中心の活動とする
	Bアエ 知・技(1)ウ	くわしく かこう	しらせたいな、見せたいな まちがいを なおそう	9	・文章の書き方を理解させ、声に出して読み返し、まちがいを直すことに重点を置いて指導する
	知・技(3)イ		ことばを たのしもう	1	・詩や早口言葉を声に出して楽しむことを中心の活動とする (参考：県教委オンラインサポート授業)
12	知・技(1)エ		かん字の はなし	5	・象形文字の成り立ちについて知り、漢字に興味をもたせる
	Cアウ 知・技(1)ア	せつめいする 文ししょうを よもう	じどう車くらべ	6	・自動車の仕事とつくりを表す文に着目させ、説明の順番に気をつけて読むことを中心の活動とする
13	Bイ 知・技(1)ア	せつめいする 文ししょうを かこう	じどう車ずかんをつくろう	5	・自動車の仕事とつくりに分けられた構成シートを活用し、説明の順番に気をつけて書くことを中心の活動とする
	知・技(1)ウ		かたかなを かこう	1	・書写(※1)との関連を図る。
	書写		かたかな(※1)	2	・点画の書き方、文字の形、筆順に注意しながら片仮名を書かせる ・方向の違いや平仮名との違いに気をつけて書かせる
	Aエ 知・技(1)オ	きいて しらせよう	ともだちのこと、知らせよう	6	・友達のことについて、大事な事柄を落とさずに聞くことを中心の活動とする ・交流では自分の内容のよいところを見つけさせる
	知・技(3)エ		むかしばなしを よもう おかゆの おなべ	3	・自分で選んだ昔話を読ませる ・公立図書館と連携して様々な昔話の本を用意することもできる
	Aエ 知・技(1)アオ	ことばつて、おもしろいな	ものの 名まえ	5	・もの名前には、個々の名前と、同じ種類や仲間をまとめて呼ぶ名前があることを理解させる ・もの名前を集めたおみせやさんごっこは、生活科と関連してもよい
15	知・技(3)ア	きいて たのしもう	わらしべちょうじゃ	1	・教師が読み聞かせを行う
	知・技(1)オ		日づけと よう日	2	・教材文を繰り返し読みながら、日付と曜日について理解させる
	Bウエ 知・技(1)キ	てがみを かこう	てがみで しらせよう	6	・手紙の書き方について理解させ、誰にどんなことを知らせたいのかを考えて書くことを中心の活動とする
	Aエ 知・技(1)オ		つづけよう③ こえに 出して よもう ききたいな、ともだちのはなし たのしいな、ことばあそび	4	・声に出して読んだり友達の話の聞いたりして、言葉を伝え合う楽しさに気付かせる
16	書写		書きぞめ	2	・書き上げた作品は、観点を定めて、互いの作品を評価し合う時間をとる
	Cイエ 知・技(1)ウ	すきな ところ を 見つけよう	たぬきの糸車	7	・物語の大体の内容を捉え、登場人物の行動を具体的に想像することを中心の活動とする ・見つけた好きな場面を紹介し合い、考えを深めさせる
	知・技(1)ウ		かたかなの かたち	3	・形の似ている平仮名と比べたり、まちがえやすい片仮名を確認したりする
	知・技(1)オ		ことばを 見つけよう	5	・教材文を声に出して読みながら、「いる」と「ある」の違いについて理解させる。
18	Cウ 知・技(2)ア	くらべて よもう	どうぶつ 赤ちゃん	9	・文章の中の大事な言葉を考えて選び出し、動物の赤ちゃんの違いについて比べて読むことを中心の活動とする
	A 知・技(2)ア	ふたりで かん がえよう	これは、为什么呢	4	・1年間の「話すこと・聞くこと」のまとめとし、児童の実態に合わせて、補強が必要と思われる指導事項に重点を置いて指導する。
19	書写		まとめ	2	・1年生のまとめとして、学習したことを生かして書かせる。 ・水書用筆を使用した運筆指導を取り入れてもよい。
	C 知・技(1)オ	よんで かんじた ことを はなそう	ずうっと、ずっと、大すきだよ	7	・1年間の「読むこと」のまとめとし、児童の実態に合わせて、補強が必要と思われる指導事項に重点を置いて指導する。
20	知・技(1)エ		にて いる かん字	3	・似ている漢字の違いや書き順にも気付かせる
21	B 知・技(1)ア	おもい出して かこう	いい こと いっぱい、一年生	10	・1年間の「書くこと」のまとめとし、児童の実態に合わせて、補強が必要と思われる指導事項に重点を置いて指導する。

※時間数の精選方法(例)

○3領域のどの指導事項に重点を置くのかを明確にする。

・複数の指導事項を万遍なく指導するのではなく、この教材では、どのような力(指導事項)を身につけさせるのかを明確にすることで、授業時間の削減が可能となります。例えば、教材「てがみでしらせよう」では、指導事項Ⅰの「文章を読み返す習慣をつけ推敲すること」を中心に指導し、教材「じどう車ずかんをつくろう」では、指導事項Ⅰの「事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること」を中心に指導を行います。「読むこと」、「話すこと・聞くこと」も同様です。

○家庭での課題として取り組ませることで、学習を補う。

・言葉に関する学習に出てくる設問などは家庭での課題として取り組ませ、後日、確認を行います。

○読書単元は学校図書館を活用し、言語活動と結びつけ、読書生活を豊かにする

・読書教材については、指導事項が【知識及び技能】(3)「我が国の言語文化に関する事項 エ」になりますので、詳細な読みは行わないのが一般的です。言語活動例を参考にして、読書と言語活動を結びつけ、3領域の資質・能力を向上させるのが望ましいとされます。教材「としょかんへいこう」「としょかんとなかよし」「むかしばなしをよもう」の学習から、学校図書館や地域の施設を活用し、家庭での読書につなげることも可能です。

○書写は取り立てた指導だけではなく、「書くこと」と関連させた指導も行う

・書写の指導に関しては、小学校1学年では年間30時間程度行うものとありますが、光村図書では、手紙を書いたり、観察文を書いたりする「書くこと」の領域の学習において、例えば原稿用紙やノートの書き方の指導の中で、文字の大きさや配置配列といった指導事項をおさえることが可能です。(本資料では、書写に取り立てた指導を15時間(50%)で作成しています)

○感染症予防対策を踏まえた学習活動の工夫を行う

・教材文等の音読は、マスクをつけることや大きな声を出さないことを指示します。ペアや少人数での話し合い活動も、マスクや声の大きさなどを配慮して行いますが、教室の状況や児童の実態によっては当分の間控えた方がよいでしょう。また、スピーチやプレゼンテーションなど、相手に向けて話す活動は、一定の距離をとって行います。インタビューなどのフィールドワークは、書くことの「情報の収集」と関連させるなど、単元の組み替えを行います。